

# 白川郷荻町集落の自然環境を守る会 令和7年8月号

# ねそ

守る会ホームページ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi/>



白川郷・五箇山の合掌造り集落 世界遺産30周年記念事業

茅文化ワークvol.1

## 茅文化と五箇山の取り組みを知り、未来に繋げる白川村の茅

平成7年12月9日「白川郷・五箇山の合掌造り集落」が、ユネスコの世界文化遺産に登録されて、今年で30年の節目を迎えます。また荻町は、伝統的建造物群保存地区の制度が発足した翌年、昭和51年に同地区が最初に選定され、保存の歴史の新たなステージを歩み始めました。それから約半世紀。今や日本中、世界中の方々に支えられながら、私たち地域住人の思いと努力により、今の白川村荻町が在り続けています。



当時から時代が進み、おおよそ3世代目の方々が先輩方のご指導のもと保存活動を牽引するようになった現在、原点に立ち返る意味をこめ、様々な分野に関する勉強会を開催していきます。初回は7月9日（水）「茅文化ワーク」と題し、お招きした3名の講師の方から、かつての白川郷における茅文化や五箇山の取り組み等を学び、良質な茅を今後どのように生産していくか、今一度考える場を設けました。共にこの30年を歩んできた五箇山の顕彰会の方々も多数ご参加くださり、束の間の交流も実りある時間となりました。以下に要点をまとめて紹介いたします。

### ●合掌造りににおける茅の循環的利用

講師：（一社）日本茅葺き文化協会代表理事／筑波大学名誉教授 安藤邦廣 様

- ・茅は材としては弱いですが、何千年何万年と長持ちする。それは「技術」が生き続けること。
- ・軽くて運びやすい、しなやかなので使いやすい等の理由で、雪深い白川村の荻町ではコガヤで屋根が葺かれていた。白川郷らしい風景のためにも、コガヤの再生が重要。
- ・茅は雪囲いとして使われ、屋根材として用いられ、めくった後は畑の肥料として重宝された。合掌造りは最先端の断熱、省エネ住宅であり、茅の循環の仕組みが働いている。
- ・茅葺きが失われた地域でも、茅は有機農業や持続的な農業のために活用され続けており、茅の優れた性質が再注目されている。

### ●刈って、使うことで守られる－茅場を支える自然のしくみ

講師：信州大学 教育学部 森林生態学研究室／教授 井田秀行 様

- ・茅場は農地でも手つかずの自然でもない、人が作った風景。手間がかかるので減少しているが、一度失われた茅場も、手間をかければ再生できる茅場の回復力が確認されており、手間が茅場を支えている。茅場は地域の自然資本であり、使うことで守られ、使い続ける

ことで自然と文化が守られる。

- ・茅場には災害を防ぐ、温暖化を緩やかにする等、目に見えない価値がある。また草原にしか生息しない生物があり、その地域の生態系や特徴を形づくっている。茅場が失われるとあっという間に植物の種類が減少するだけでなく、クマの出没も。

## ●世界遺産の屋根材を育む草原

講師：（公財）世界遺産相倉合掌造り集落保存財団／中島仁司 様

- ・茅場の管理は「家事」のひとつで、重労働だが暮らしに必要なこと。仕事が休みの時に行ったり、こどもたちのすぐそばに、いつでも茅が存在している。
- ・カメラマンや地域を出た人も茅場の管理に繰り返し訪れており、企業研修や平高校の授業も含め、住人以外にも多くの方が保全活動に関わっている。茅刈りだけでなく、ツルの除去や茅保管庫の管理等、大変な作業にも関わってもらっている。人材の受け入れは、刈り手の負担にならないよう財団で行っていて、ご縁を大切にしている。
- ・住人個人が努力されている中、財団としてどのようにサポートするか、常に考えている。そのひとつとして茅単価を毎年適正な価格に見直し、持続可能な取組みを目指している。

## ◆ツノ結び、みんなでマスターしよう！

2年ぶりの開催となる「茅葺技術の継承ワークショップ」。今回は、合掌造りの屋根葺きで使われる『ツノ結び』に焦点を当てて実施します。屋根葺きだけでなくオダレづくりなど、様々な場面で登場する『ツノ結び』。今年の11月には「結の合掌屋根葺き替え」も予定されています。この機会に是非ご参加いただき、屋根葺きに向けてイメージを膨らませましょう。



### 【開催概要】

日時：8月26日（火）19:00～21:00

会場：荻町公民館2階

※短時間でもOK！お気軽にご参加ください！

### 守る会活動スローガン ～守る・暮らす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②暮らす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、他地域の交流から学び、未来の継承者を育成

### ゴミ問題等に関する発展会からのお願い ～「きれいな白川郷」を守るために～

- ①観光事業者は、ポイ捨てに繋がるゴミが生じないように努力しましょう。
- ②店舗等周辺のゴミ拾いを積極的に行いましょう。
- ③観光客からゴミ処分の申し出があった際は、他店舗のゴミであっても“お互い様”の精神で快く引き取りましょう。
- ④タバコのポイ捨てによる火災がないよう見かけたら注意しましょう。

### 7月の活動報告 ※9月の定例会は10日(水)を予定（公民館和室にて）

3日-4日 全伝協総会、研修会（会長・清水・教育委）

10日 ねそ7月号発行（総務部）

9日 茅文化ワーク、定例会

25日 荻町交通対策委員会（会長）

随時 草刈り（福田）

### 8月の協議事項（現状変更申請に関わって） 8月8日開催

\*\*\*\*\*茅倉庫の建替え \*\*\*\*\*解体 \*\*\*\*\*庇の補強、雨樋修理

\*\*\*\*\*屋根トタン塗装 \*\*\*\*\*アスファルト舗装 \*\*\*\*\*西側落屋増築